作成日：西暦 2026 年 10 月 15 日

2017 年度から 2024 年度までに職域健診で心電図検査を受けた 40～74 歳の被保険者本人の方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施します。この研究は、健診や診療の際に既に得られた情報に基づく研究です。このような研究は、『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』により、対象となる皆様お一人おひとりから直接同意を得る代わりに、研究内容を公開し、参加を拒否できる機会を保障することとされています。今回利用するデータは匿名化後のデータであるため、個人を特定することができないため、データからの削除はできないことをご了承ください。

１．研究課題名

職域健診における心電図所見とその後の医療接続・治療および転帰に関する後ろ向きコホート研究

２．研究期間

研究機関の長の許可日～2029 年 3 月 31 日

３．研究機関

産業医科大学

４．研究責任者

産業医科大学　医学部 不整脈先端治療学　教授　荻ノ沢 泰司

５．研究の目的と意義

［目的］職場の健康診断（職域健診）の心電図で何らかの所見（異常）を指摘された方が、その後 360 日以内に医療機関を受診し、検査・診断・治療を受けているかを、心電図が正常だった方と比べて調べます。はじめに、次の 2 つの所見について調べます。

・心房細動・心房粗動：脈が速くなったり不規則になったりする不整脈です。心臓の中に血のかたまり（血栓）ができやすくなり、脳梗塞の原因となることがあります。

・ST-T 異常：心電図の波形の一部に見られる形の変化です。心臓の筋肉への血流不足や、心臓への負担などで見られることがあります。

［意義］健診のあと、どのくらいの方が受診や治療につながっているか、またどの段階で途切れやすいかが分かれば、健診後に受診を勧める仕組みや職場での健康管理の改善に役立つ可能性があります。

６．研究の方法

対象となる方は、2017 年度から 2024 年度までの間に職域健診で心電図検査を受けた 40～74 歳の被保険者です。この研究では、産業保健データサイエンスセンター（DSC）がすでに保有している、健診の結果、心電図の判定結果、病気の名前、受けた診療の内容、使用した薬、入院・退院の記録、健康保険の資格に関する情報、匿名化された企業に関する情報などを、匿名化した状態で利用します。また、DSC が保有する情報のうち勤務日数・勤務時間の情報が利用できる企業については、主な解析を補う探索的な解析に利用します。本研究のために、企業から新たに情報の提供を受けることはありません。

心電図に所見（異常）が見つかった方については、その所見が初めて確認された健診の日を基準の日とします。心電図が正常だった方については、対象となる期間内で最初に正常と判定された健診の日を基準の日とします。それぞれの基準の日の 12 か月前から 360 日後までの期間について、健診を受けてから 360 日以内に、医療機関を初めて受診したか、心臓や血管に関する検査・診断・薬による治療・カテーテル治療を受けたか、入院が必要な心臓や血管の病気が起きたか、といった点を比較します。本研究で使用するデータは DSC で匿名化データを使用します。すでに個人の特定ができないデータであるため「同意の撤回」という手続はありません。データ利用に関してご不明な点がございましたら９．問い合わせ先へご連絡ください。

７．個人情報の取り扱い

研究者が扱う情報には研究用 ID を付し、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、被保険者証記号番号等の直接個人を特定できる情報を含めません。個票データは DSC が指定する学内のアクセス制限された解析環境内でのみ取り扱い、個人端末や外部媒体等へ持ち出しません。研究成果は個人や企業を識別できない集計値として公表します。

研究資料（文書、数値データ、画像等）は、研究結果の最終公表後 10 年間保管します。保管期間終了後、電子情報は復元できない方法で削除し、紙媒体がある場合は裁断または溶解して廃棄します。人体試料は用いません。今回利用するデータは既に匿名化後であり個人を特定することができないため、該当する情報を特定して除外することはできないことをご了承ください。

８．得られた情報の利用目的の範囲

・学術発表、学位論文および学術論文としての利用：あり

・個票データの第三者提供：なし

・公的データベース等への個票データの登録：なし

９．問い合わせ先

〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ケ丘 1 番 1 号

産業医科大学 第 2 内科学／不整脈先端治療学

研究責任者　荻ノ沢 泰司

問い合わせ対応担当（研究事務局）　小林 貴大　電話：093-603-1611

10．その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また、研究に伴う費用負担や謝礼はありません。

11．利益相反

この研究は一切の利益相反はありません。